

アルゼンチン金融市場の動向について（2019年8月）

他の新興国市場に与える影響は現時点では限定的

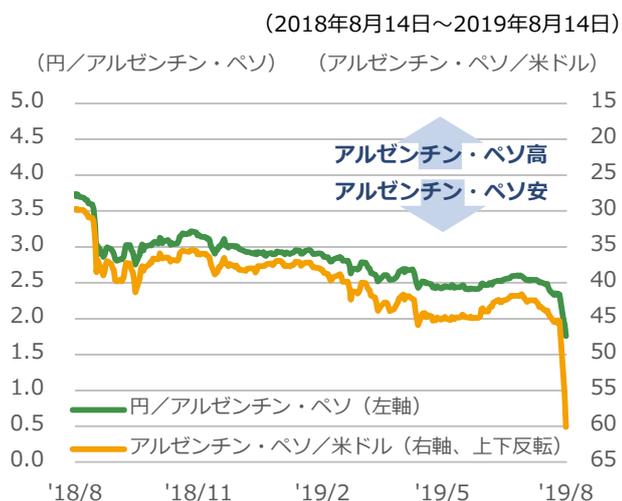
2019年8月16日

大統領選挙の予備選挙で現職のマクリ氏が大敗

2019年8月11日（現地）、アルゼンチンでは10月に実施予定の大統領選挙の予備選挙が実施されました。その結果、与党連合から出馬したマクリ現大統領が中道左派の野党連合から出馬したアルベルト・フェルナンデス候補に大敗しました。マクリ政権が進める財政緊縮政策によって景気の低迷が続き、国民の不満が高まっていたことが今回の結果につながったとみられています。これを受け、アルゼンチンの金融市場では、株式、債券、通貨が大きく下落する結果となりました。

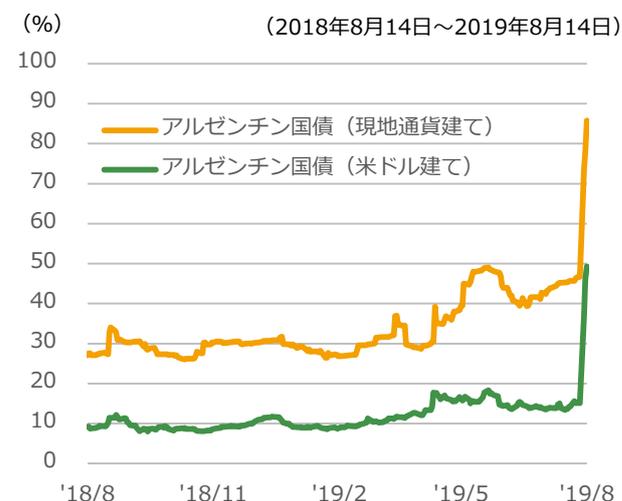
アルゼンチンは現在、IMF（国際通貨基金）から金融支援を受けています。マクリ大統領は今回の選挙活動の中で、現在IMFとの間で合意している緊縮財政や年金、労働等の構造改革を進めていく意思を示していました。一方、中道左派の野党連合は、IMFとの合意内容を見直すことを示唆するなど、市場にとって好ましくない政策運営に転換するとみられています。市場ではマクリ氏の劣勢こそ見込まれていたものの、大差をつけられるのは想定外でした。今回の予備選挙の結果から、市場の先行き不安が一気に高まった格好となりました。次期政権による政策運営やIMFとの関係悪化に対する懸念が払拭されない限り、アルゼンチンの債券および為替市場は、当面不安定な値動きが続くことが想定されます。他方、アルゼンチン市場の不安定化が他の新興国市場に与える影響は現時点では限定的だと考えています。アルゼンチンの状況が同国固有のものであること、アルゼンチン以外の新興国経済はやや減速しつつも底堅く推移しているためです。ただし、今後は米中貿易戦争など、世界経済の先行き不透明要因は他にもあることから、他の新興国市場への波及度合いについては慎重に見極める必要があると考えています。

為替の推移



(出所) ブルームバーグ

利回りの推移



※アルゼンチン国債の現地通貨建ては、現物債券「ARGTES 18.2% 2021/10/3」、米ドル建ては「ARGENT 6.875% 2021/4/22」の利回りを使用しています。

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。